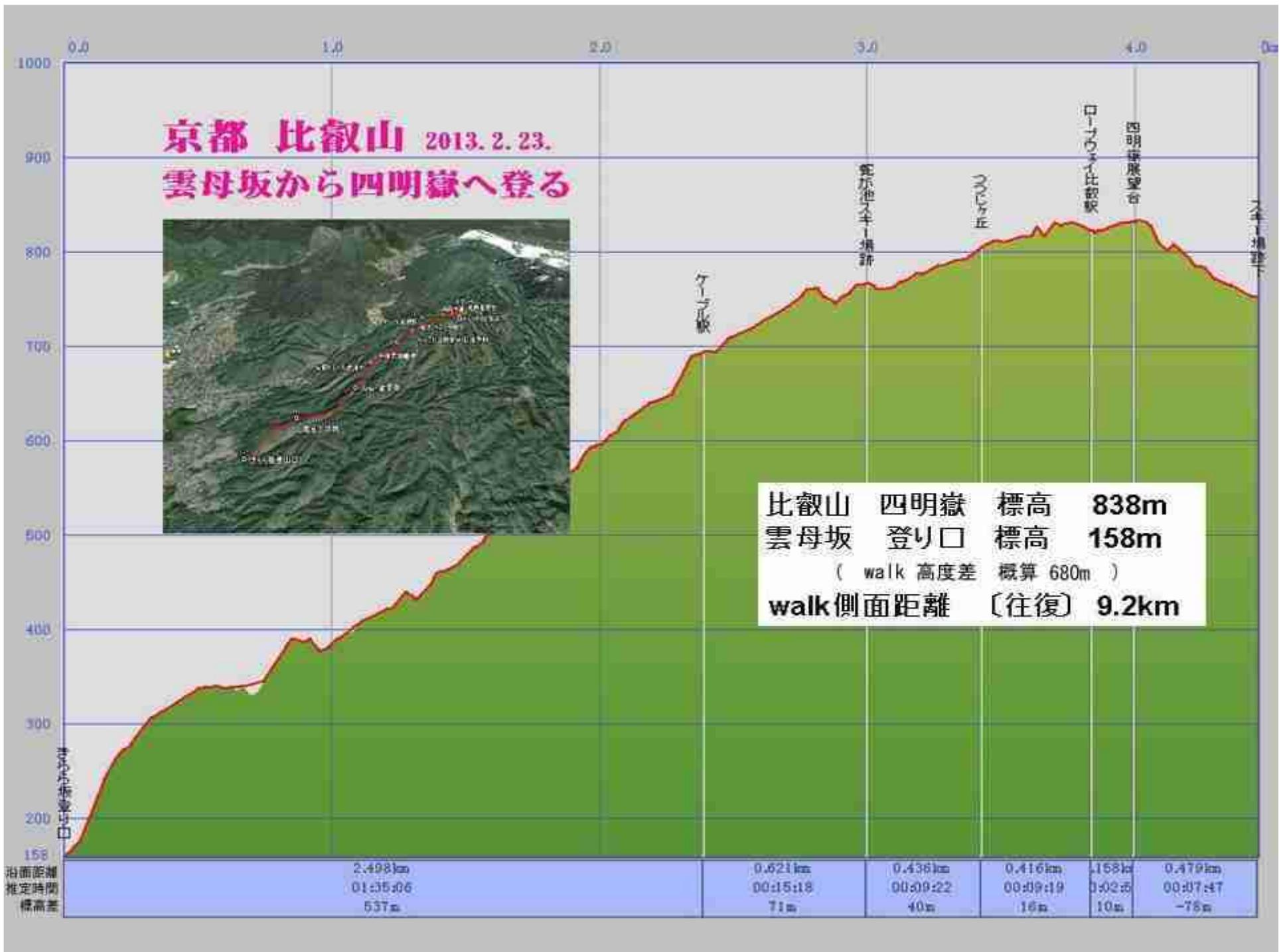


屋久島縄文杉ハイクに向けて

京都・比叡山 トレーニング ハイク

雲母坂から比叡山・四明嶽往復 2013.2.23.





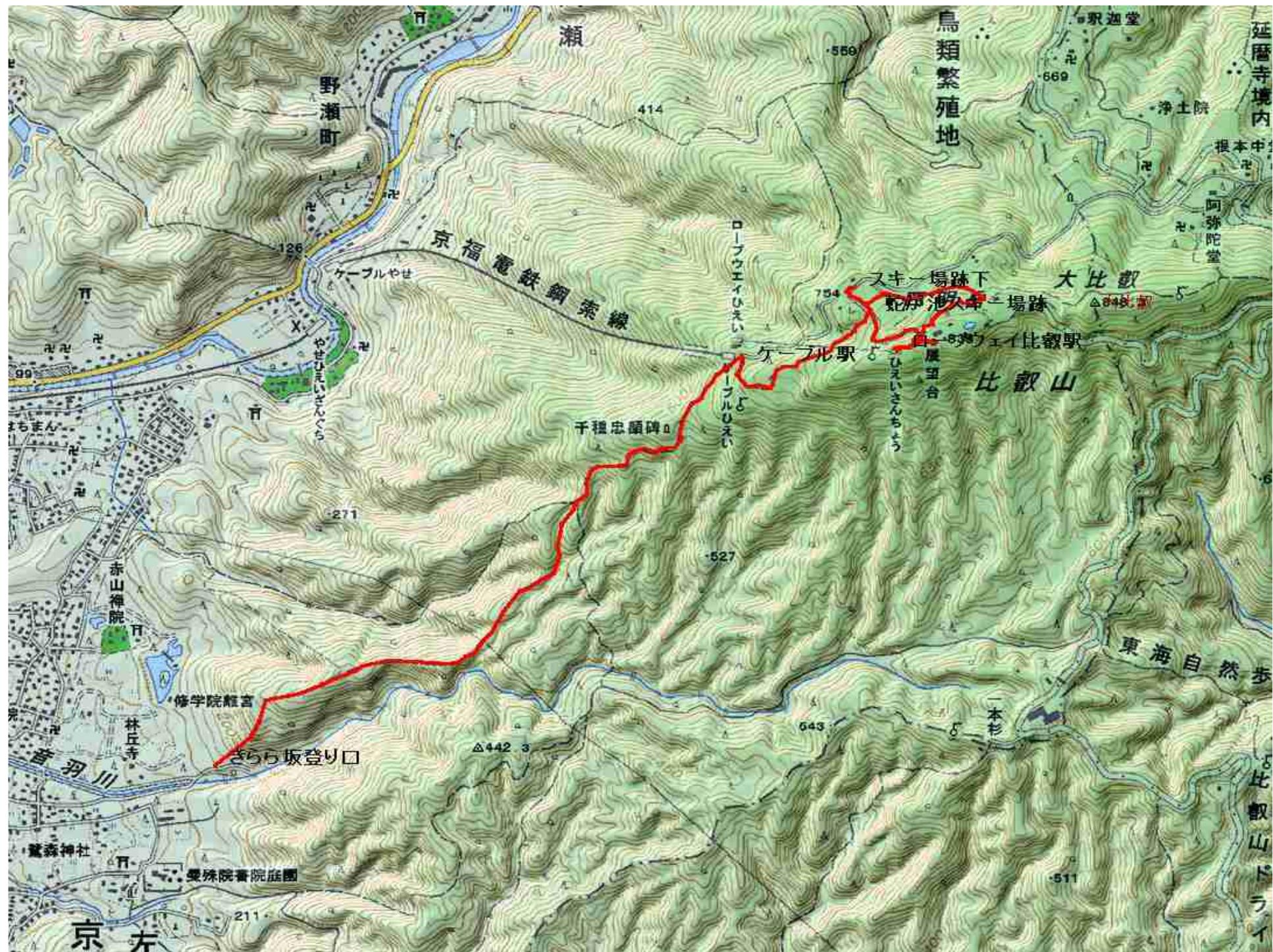


一乗寺周辺から眺める四明嶽と雲母坂の尾根筋 2013.2.23.



Image © 2013 GeoEye
© 2013 CNES/Spot Image
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

Google earth





高野橋から眺める比叡山 2013.2.23.朝



雲母坂 登り口 鶯森神社 京都市左京区修学院宮ノ脇町16

比叡山へ雲母坂の道筋 比叡山南西麓 東山に源を発する音羽川、一条寺川に挟まれた地にある閑静な森と美しい参道がある神社。今から約1100年あまり前の貞觀年間に創建され、かつては修学院離宮の山林にあったという修学院離宮ゆかりの古社で、祭神は八坂神社と同じ素盞鳴尊素盞鳴尊。 比叡山麓七里修学院、山端一帯の氏神神社のひとつで、牛頭天王、また鬚呂天王(天皇)(しゅだてんのう)を祀り、(『拾遺都名所図会』)修学院村天王社、修学院寺の天王とも呼ばれた歴史ある神社。閑静な境内には、荘厳な本殿のほかに離宮にゆかりの石碑や幸橋があり、桜や楓、紅葉の美しい参道は散策に最適。



おまつりの
祭りの
わが身は
かわい
事無年氏
の御社奉
詔文
はいへ
石碑
の文書
を記
す
御
通
じ
ます
と
お

社碑所



鷲森神社から 東へ曼殊院横への坂を登ると左・雲母坂 右曼殊院のT字路



南側にある曼殊院の正面まで寄り道 2013.2.23.



右 雲母坂 左 曼殊院のT字路 鷺森神社から登ってきた坂道角 2013.2.23.

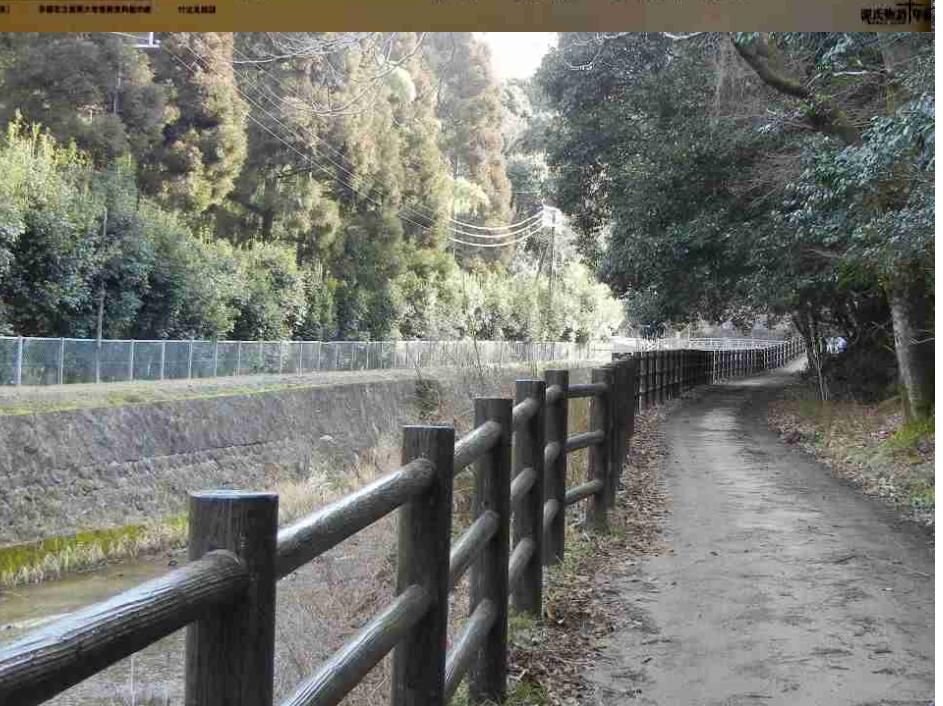
源氏物語 ゆかりの地

雲母坂

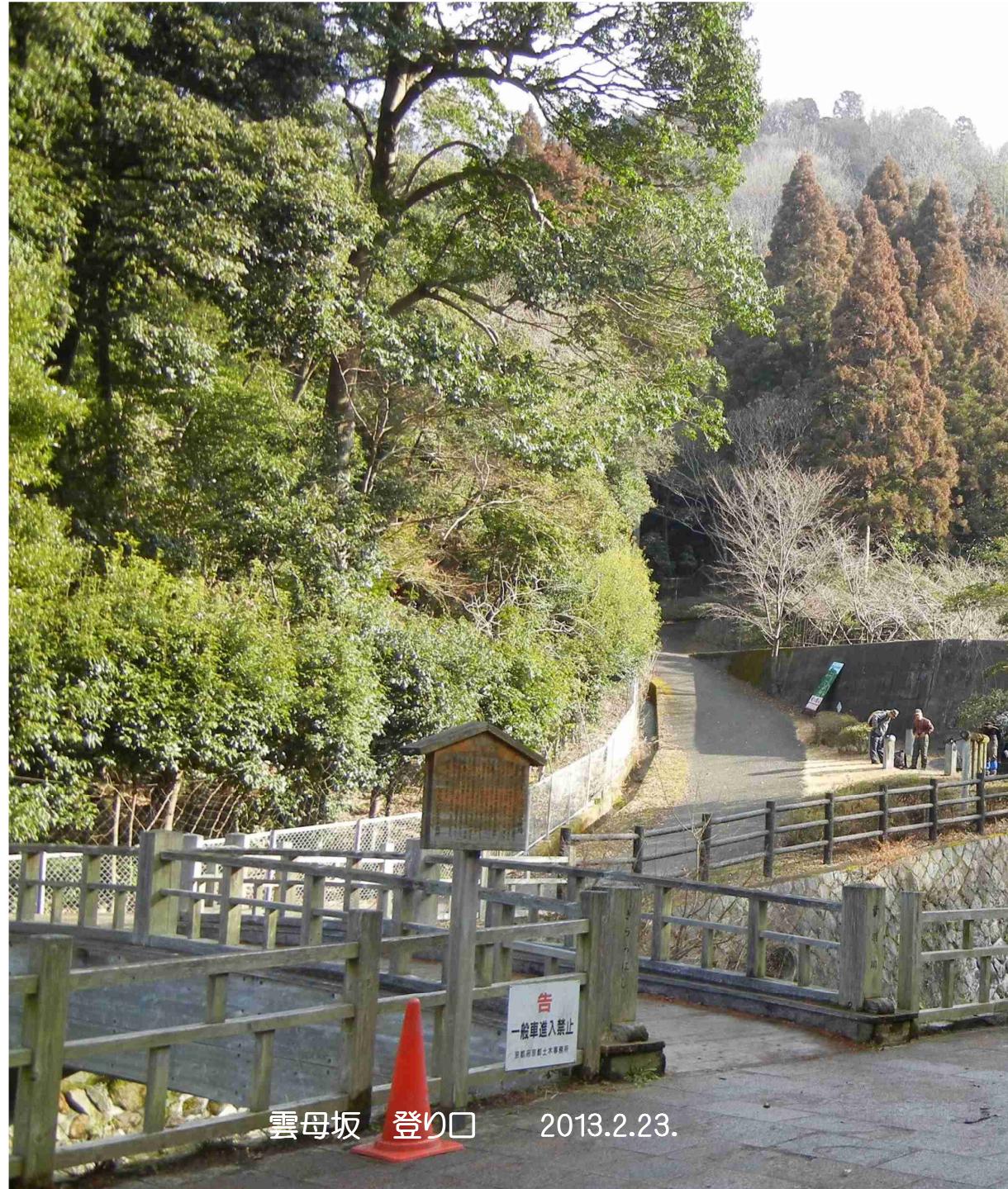
平安京の北東(鬼門)に位置する比叡山(標高八四八メートル)は、延暦四年(七八五)に最澄(七六七～八二二)が山中に「宇の草堂を構えて比叡山寺(一乘正觀院)を創建。さらには弘仁一四年(八二三)には延暦寺として、後に「三塔十六谷・比叡山三千坊などと称する大伽藍に発展した。延暦寺からは円仁・円珍のほか新仏教を聞いた法然・親鸞・日蓮・空西・道元らを輩出し、日本仏教の母山とも称される。

古来、都から比叡山への主要ルートの一つであった雲母坂は、都から勅使や修行僧が行き来し、「勅使坂」、「押坂」などとも呼ばれ、「山州名跡志」に「此の坂、雲を生ずるに似たり、よつて雲母坂と云う」とある。

『源氏物語』では、浮舟が、「雲・匂きとの閑倦を清算するため宇治川に入水しようと傍(わき)い氣を失つて倒れているところを橘川僧都に助けられ出家する」(「浮舟・手習」)、いうほう葉は、行方不明になっていた浮舟を尋ねるために比叡山の横川僧都のもとを訪れ、小野にいる浮舟のもとへの案内を頼むが、僧都はすでに此家している浮舟に会わせることをためらい、案の頃いは果たせなかつた(「夢浮舟」)。橘川僧都は恵心僧都源信(九四二～一〇一七)がモデルとされている。



曼殊院の横から北へ森に入ると雲母坂の解説案内板があり、この森を抜けると比叡山南麓を西へ流れ下ってくる小さな渓流 音羽川の岸に出て、川に沿って遊歩道が整備されている、
このすぐ東 上流側が雲母坂の登り口である







修学院離宮の南側の金網に沿って雲母坂が続く登り口 2013.2.23.



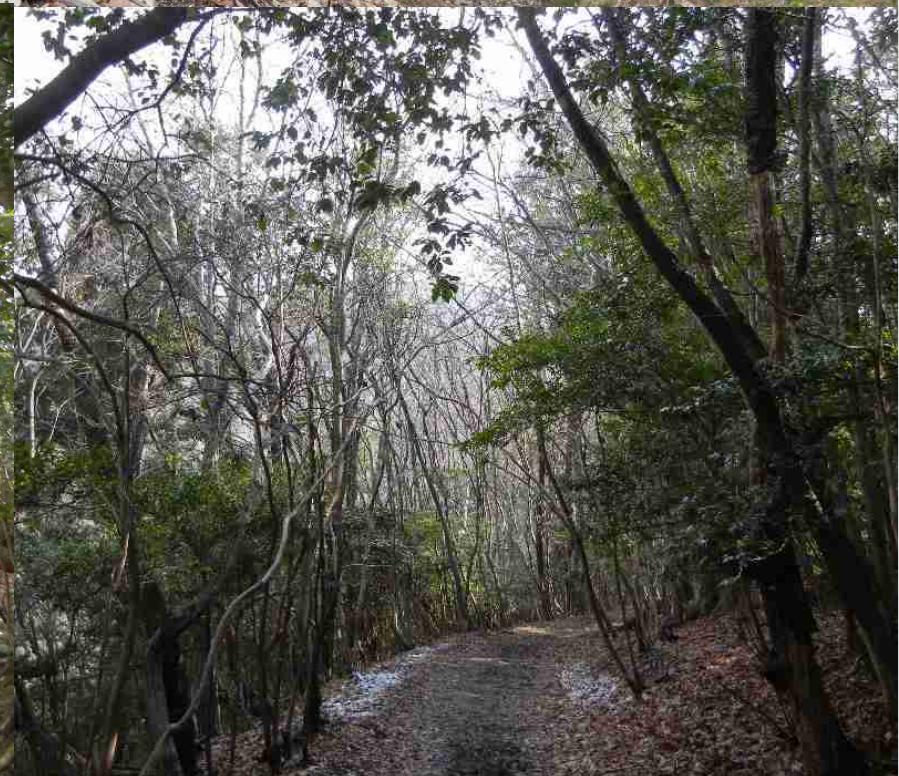


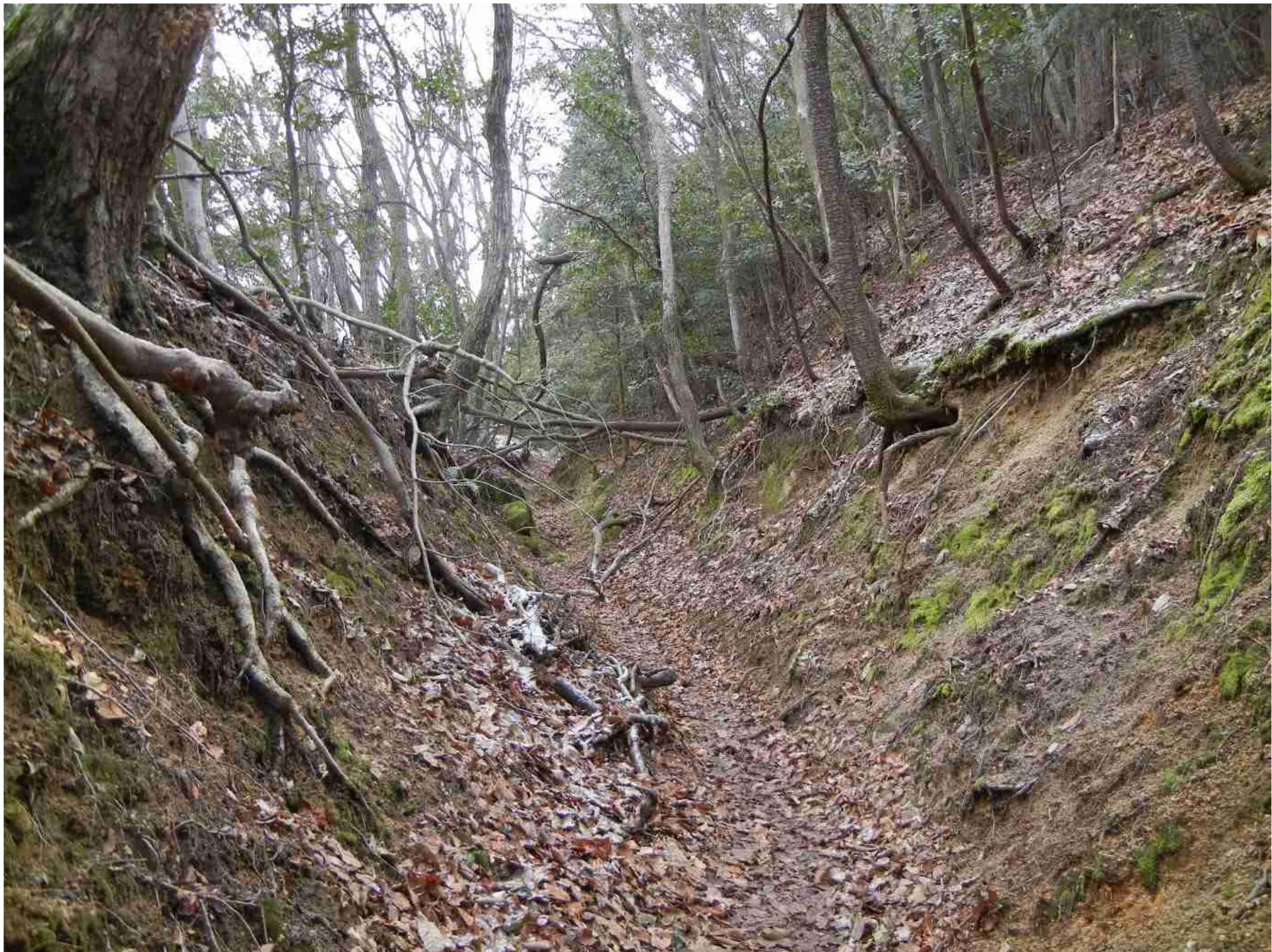
急登がつづく雲母坂 2013.2.23.



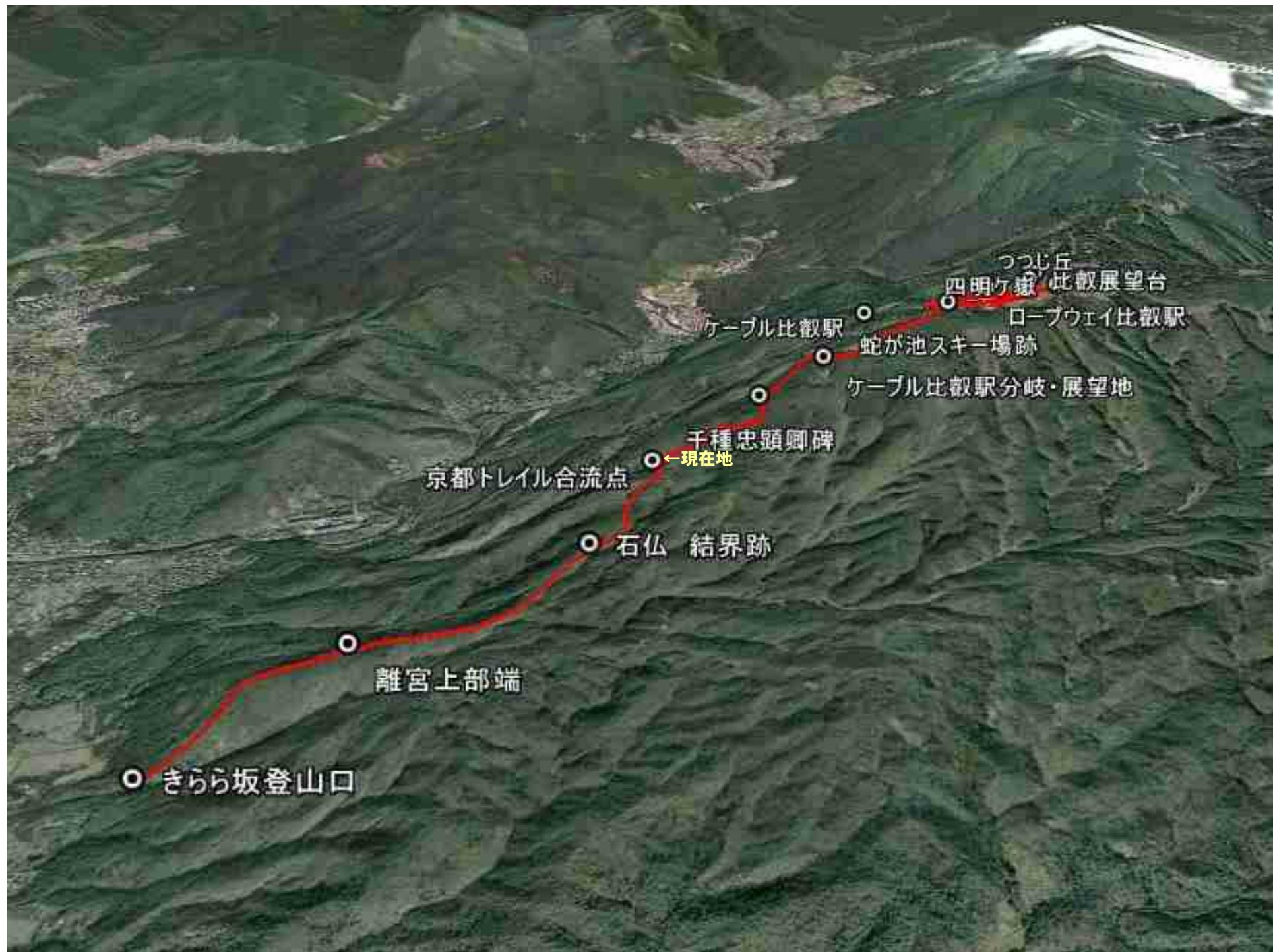














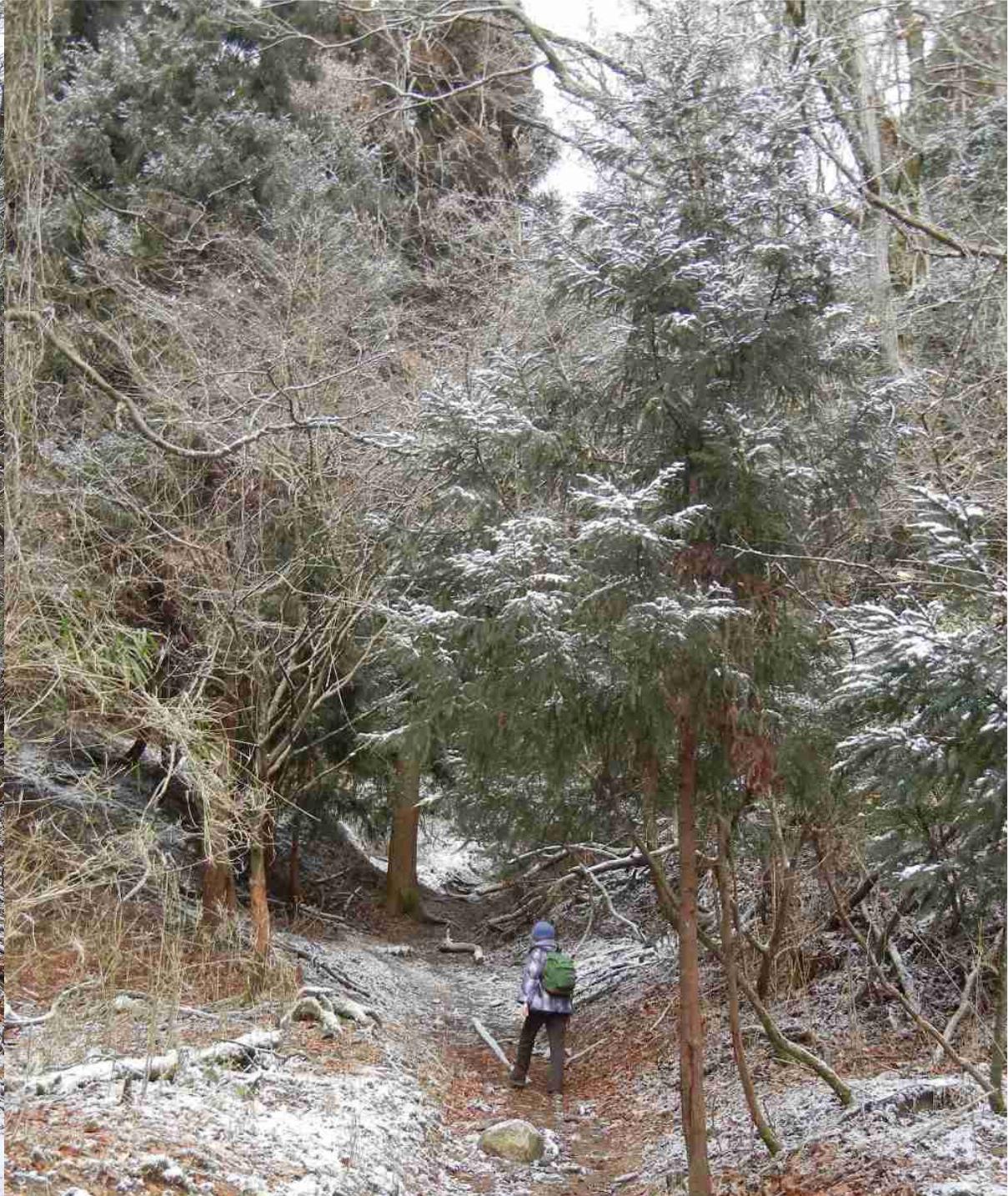
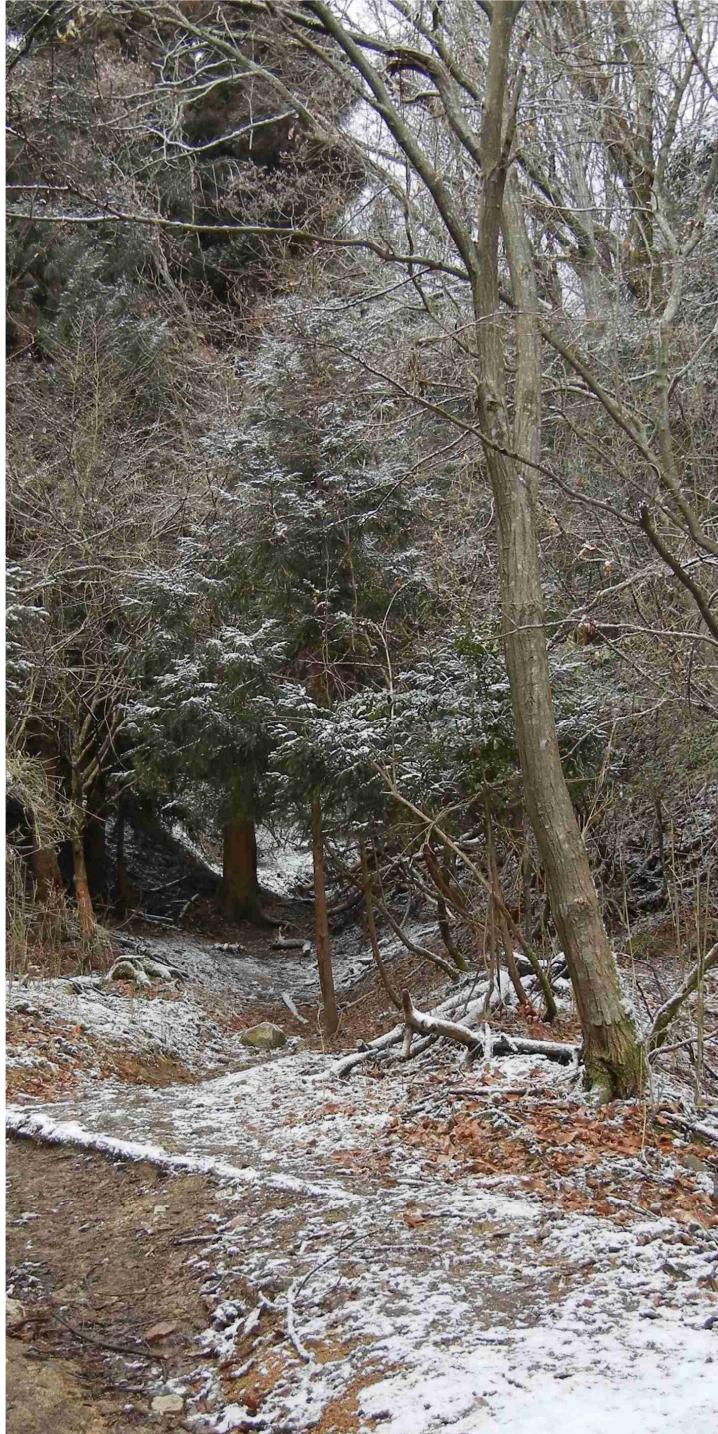
ここまで登ってくると数日前の寒さから、陽かけの部分に雪が残っている

京都トレイルとの合流点 2013.2.23.



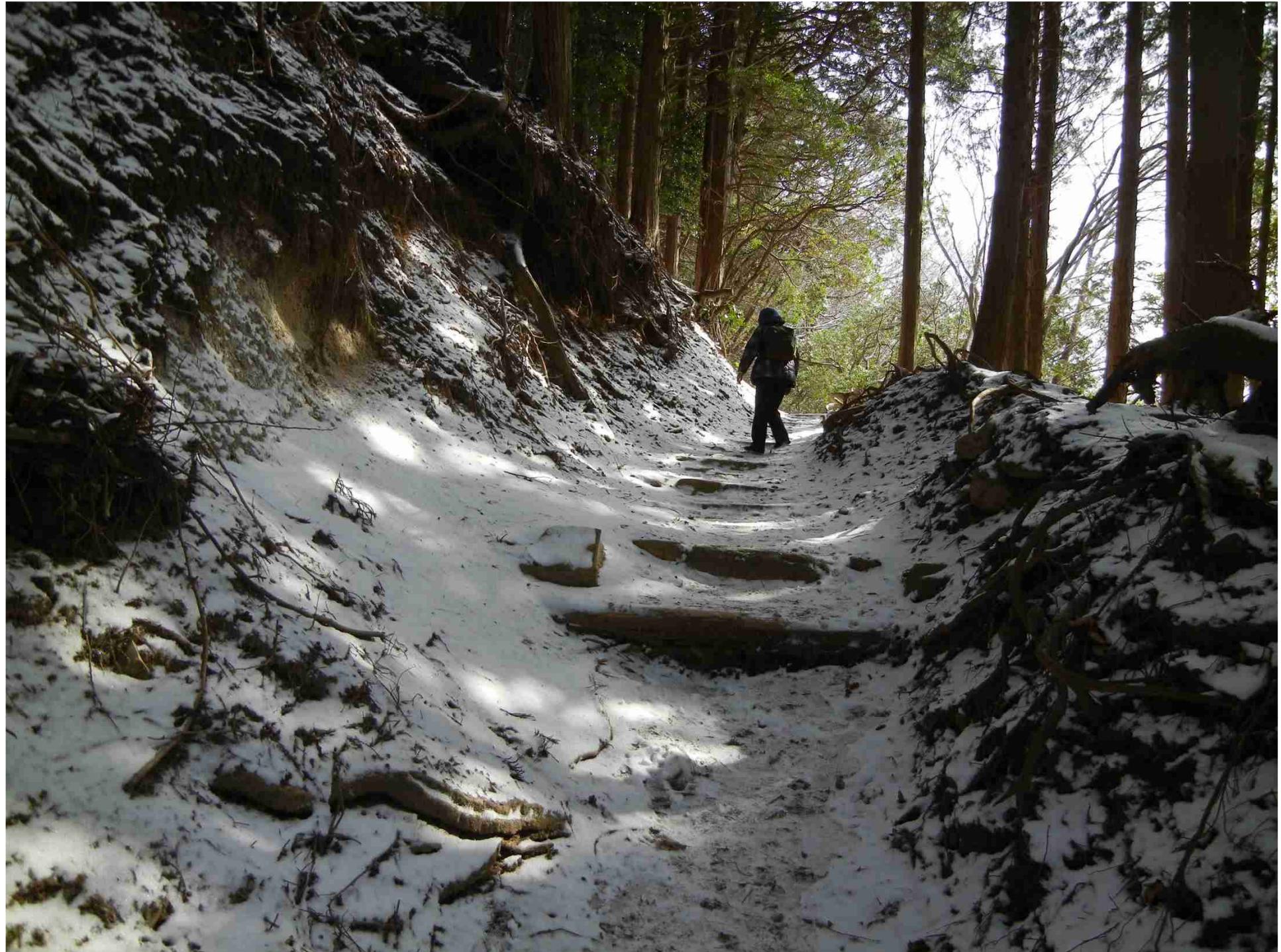
交流点周辺 送電鉄塔の横から眺める京都・宝ヶ池市街地が西側正面に眺められる 2013.2.23.



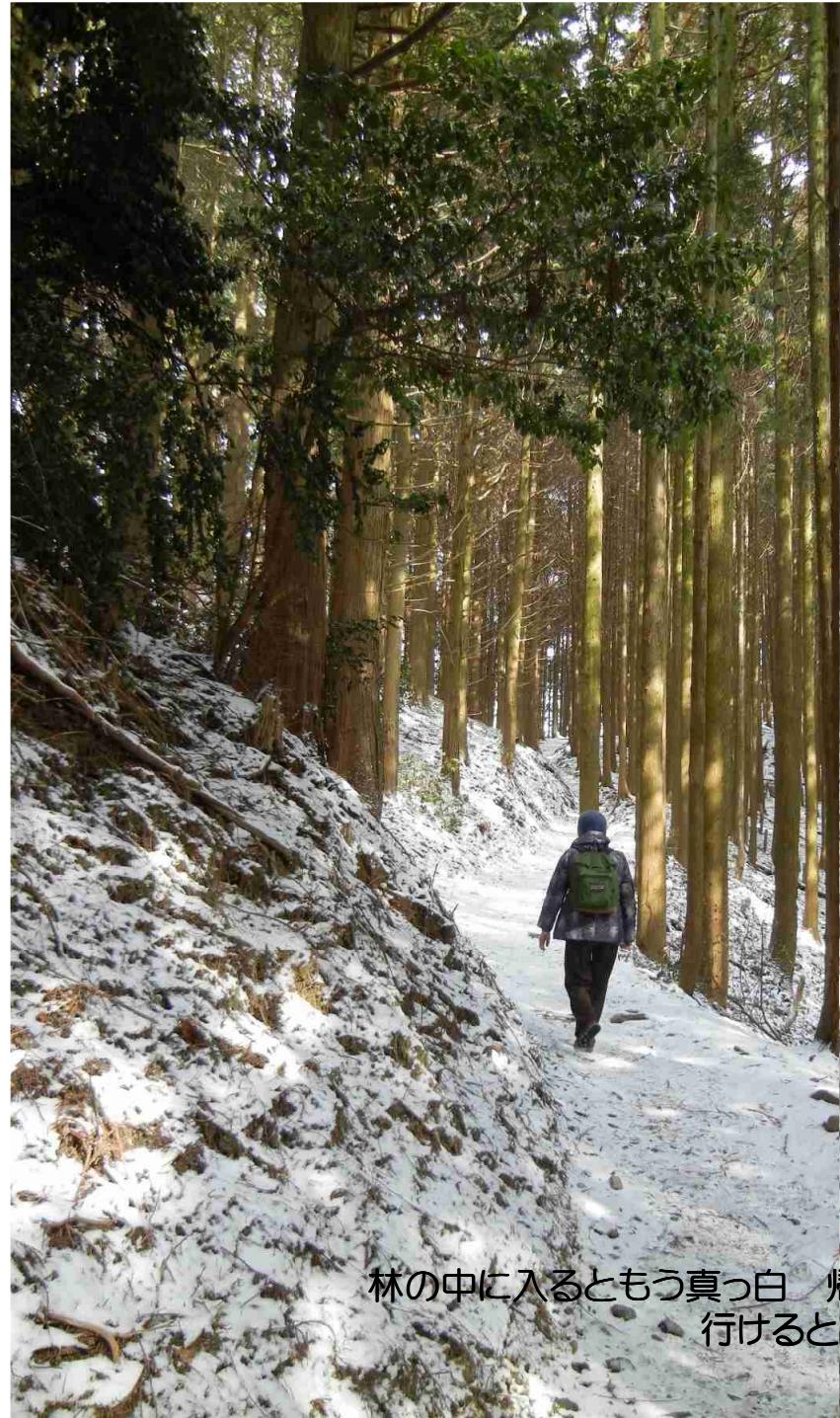




思わぬ雪道 ラッキー すべらぬよう雪の感触を楽しむ 2013.2.23.







林の中に入るともう真っ白 帰りが心配になるが、スティックも持っているので、
行けるところまで登る 2013.2.23.





八瀬ケーブル比叡駅への分岐・展望台周辺の林の中

2013.2.23.



東山連峰の右手に京都市街地



正面には松ヶ崎・宝ヶ池の集落



森を抜けると西に視界が開けた展望台 南西側に京都の市街地が一望 2013.2.23.
中央を左から右へ鴨川 京都駅界隈から御所周辺まで くっきりと遠望できました



更に雪が深くなった林の中 ロープウェイの索道をくぐるとまもなく蛇池のスキー場跡 2013.2.23.



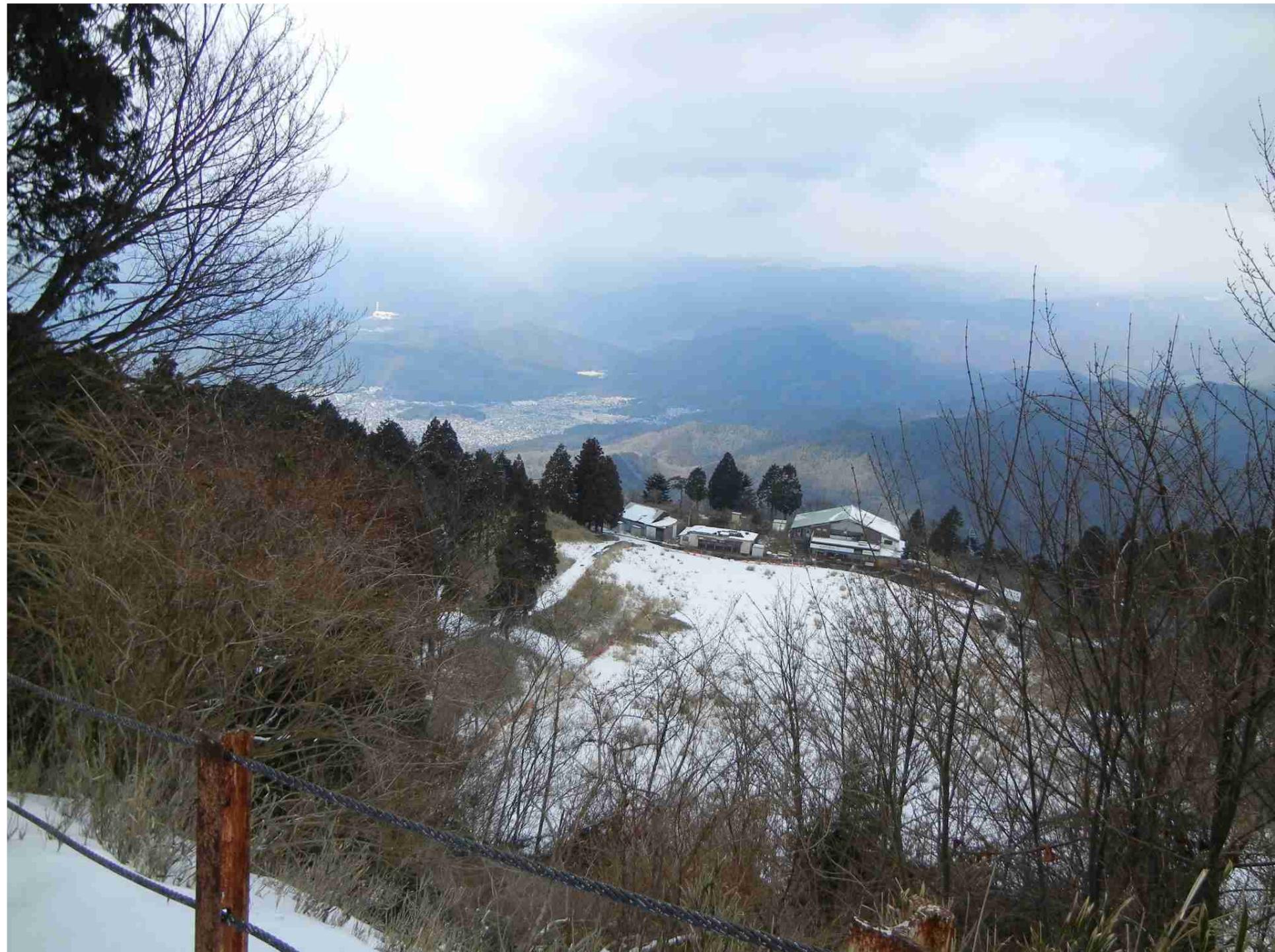




リフトが伸びる四明嶽の頂上部の展望台が見える 2013.2.23.



蛇が池スキー場跡から 四明嶽の頂上部の展望台 右端にロープウェイ駅 2013.2.23.
この山の向こうは琵琶湖側・延暦寺がある





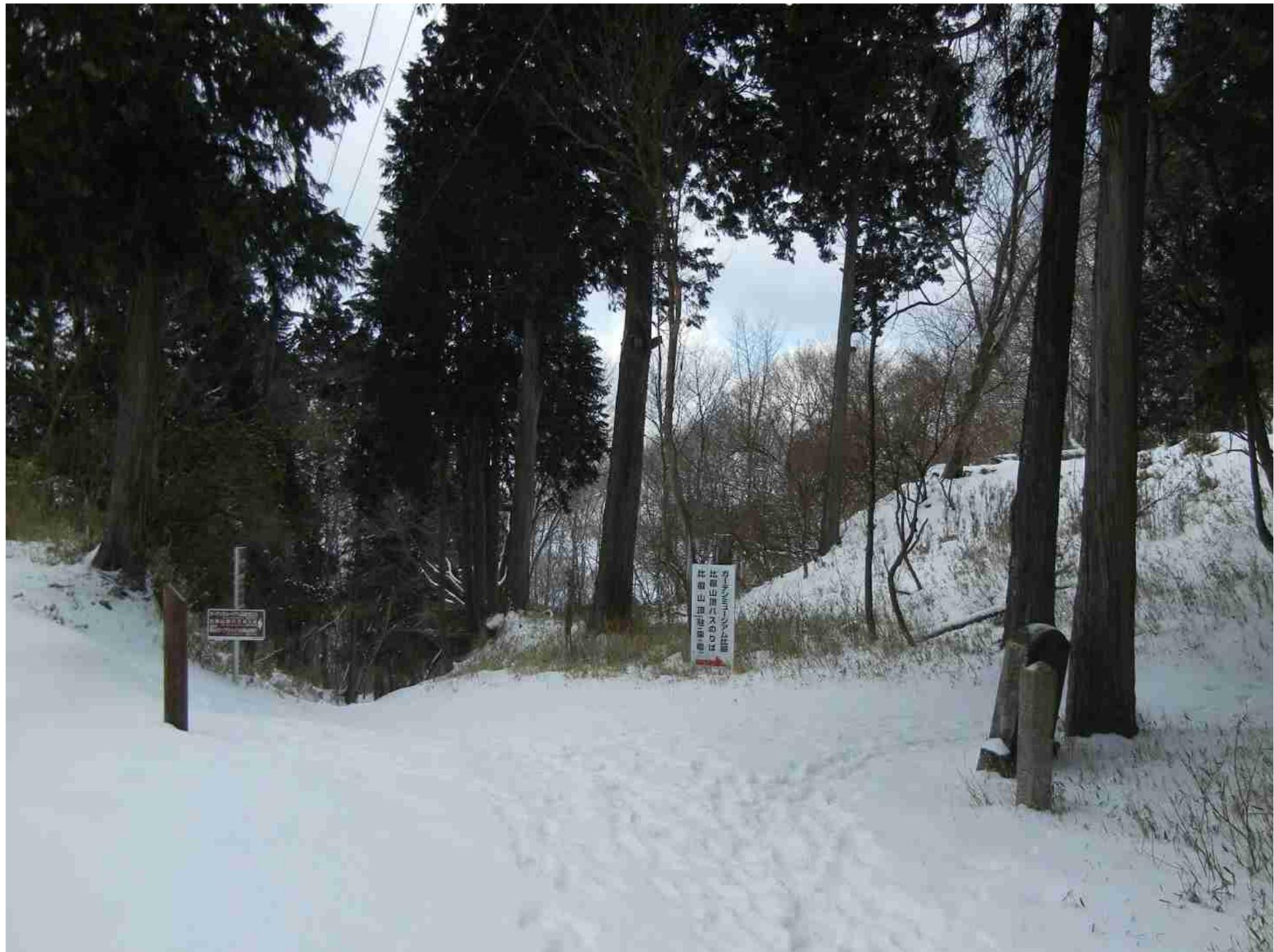
スキー場をトラバースして 北西斜面 つつじが丘から頂上へ 2013.2.23.
広い車道がドライブウェイから延び 遊歩道もあるはずなのですが、ケーブル・ロープウェイ・ドライ
ブウェイ すべて冬季休止中で、いるのはハイカーのみ。すべて雪の中。
ふみ跡と案内標識に沿って歩く



つつじヶ丘から西側の展望 2012.2.23.



西側の展望 八瀬の里 山中に京都産業大? の建物が見える 2013.2.23.

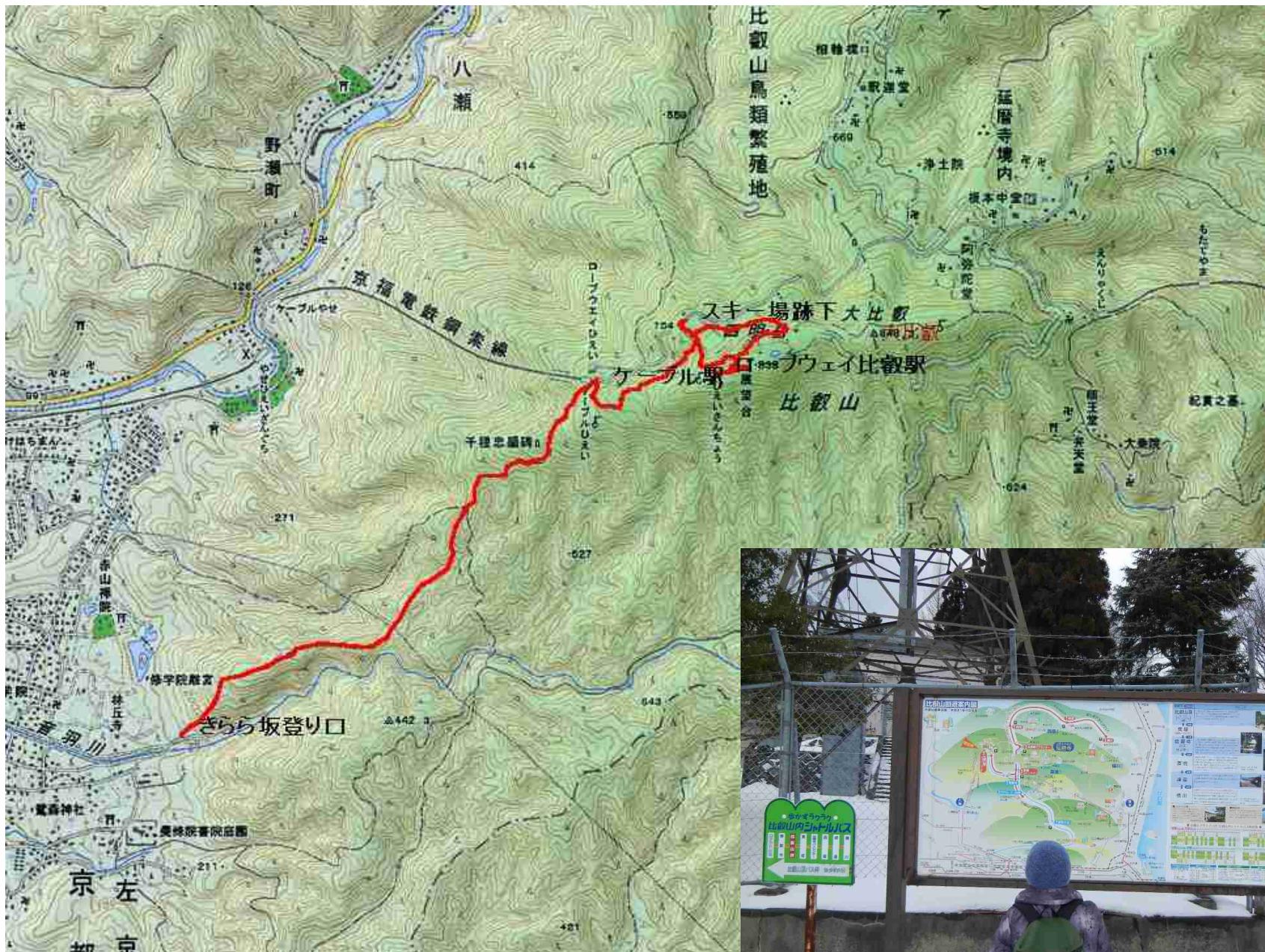




行楽シーズンには賑わう場所であるが、雪の中。琵琶湖側の阪本ケーブル・ドライブ ウエイの
バスも休止とわかって、やっぱり、雲母坂を下りることにして、四明嶽頂上部へ 2013.2.23.

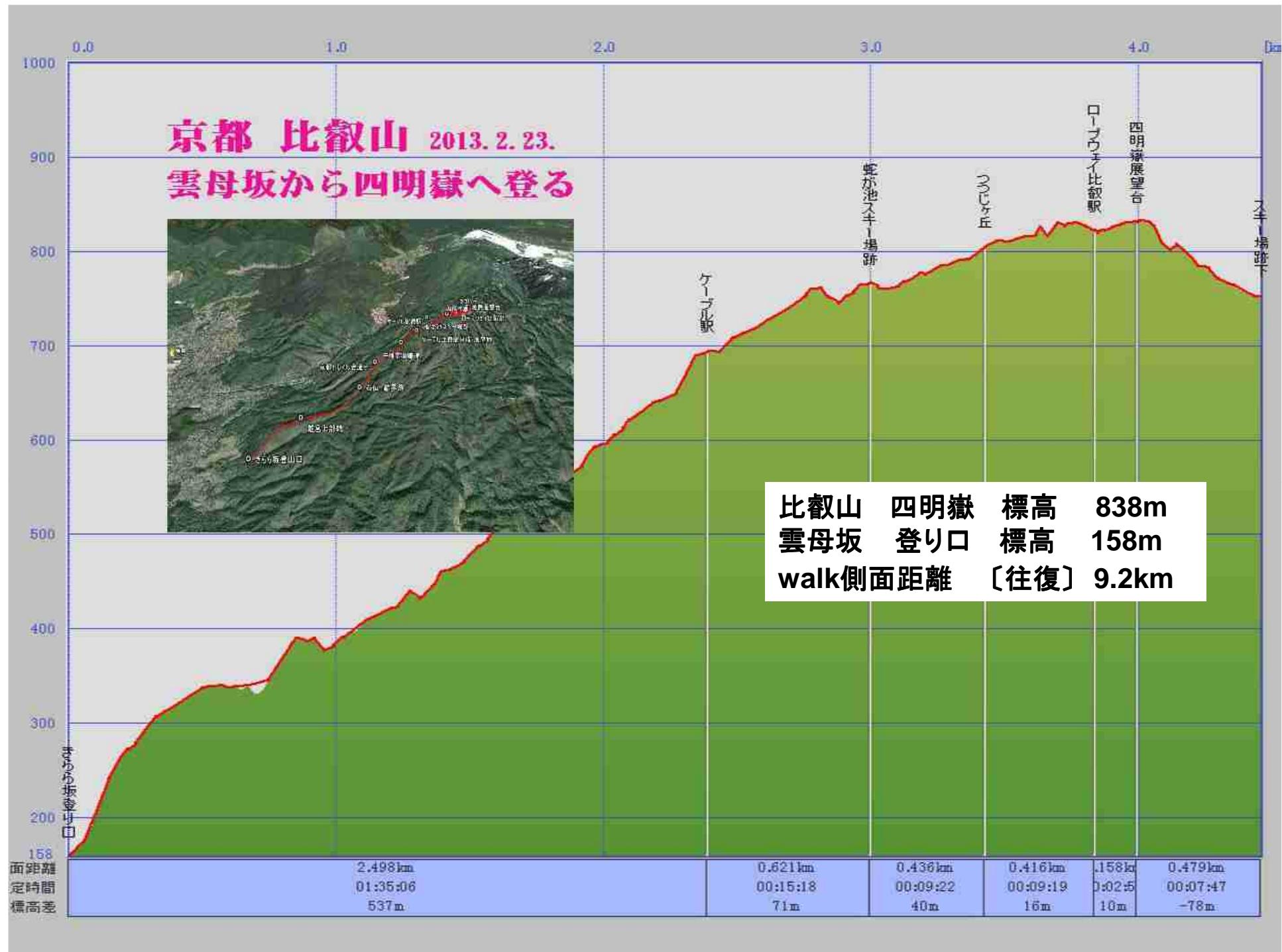


山上は雪に覆われ、公園の入り口は施錠され、戻って 琵琶湖側へまわりこま
ないと向こう側へは行けなかった 2013.2.23.



雪の降りも気になるので、ここで、今日はストップ。
スキー場の広場で昼食をして雲母坂を下る。





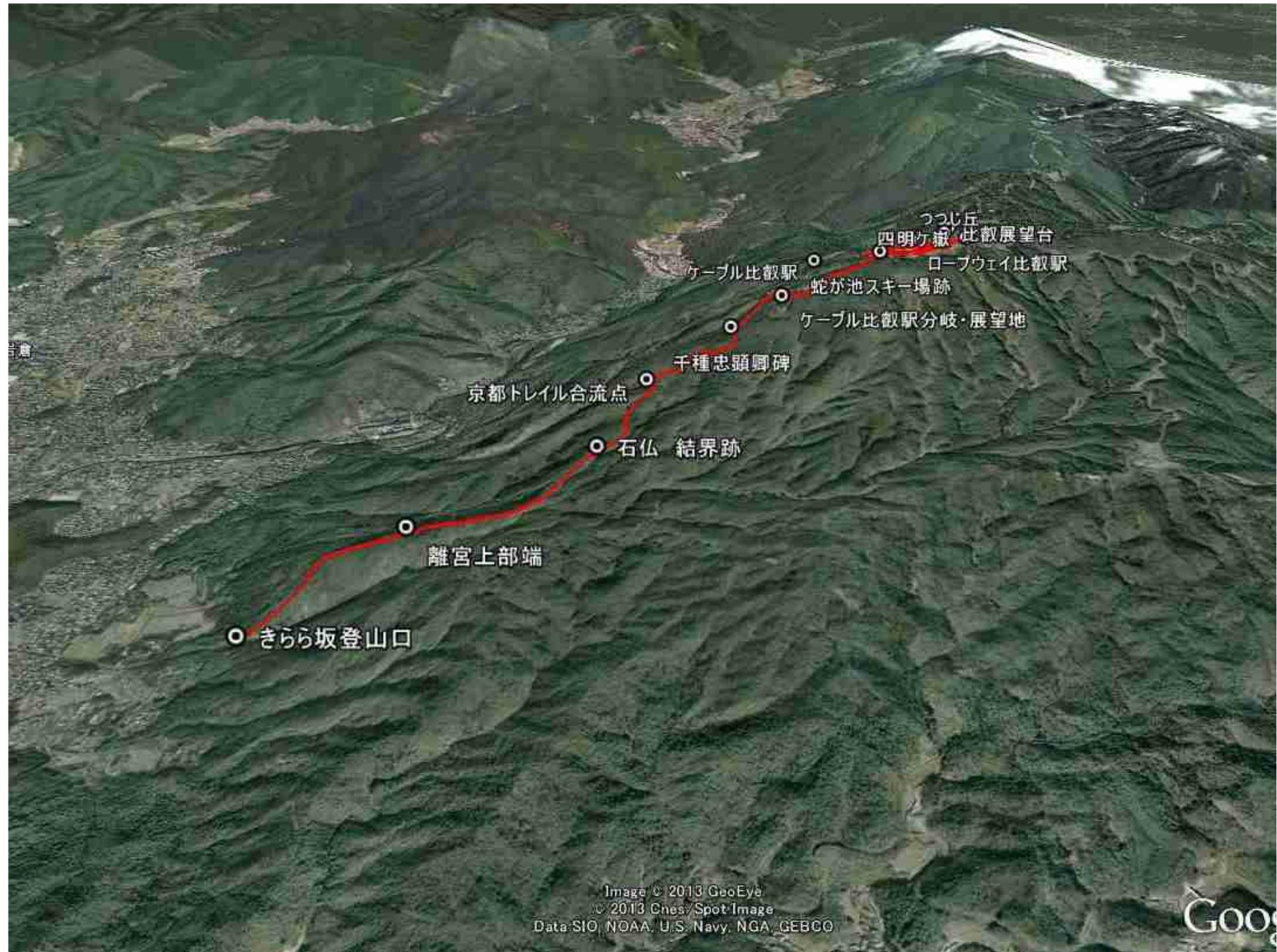
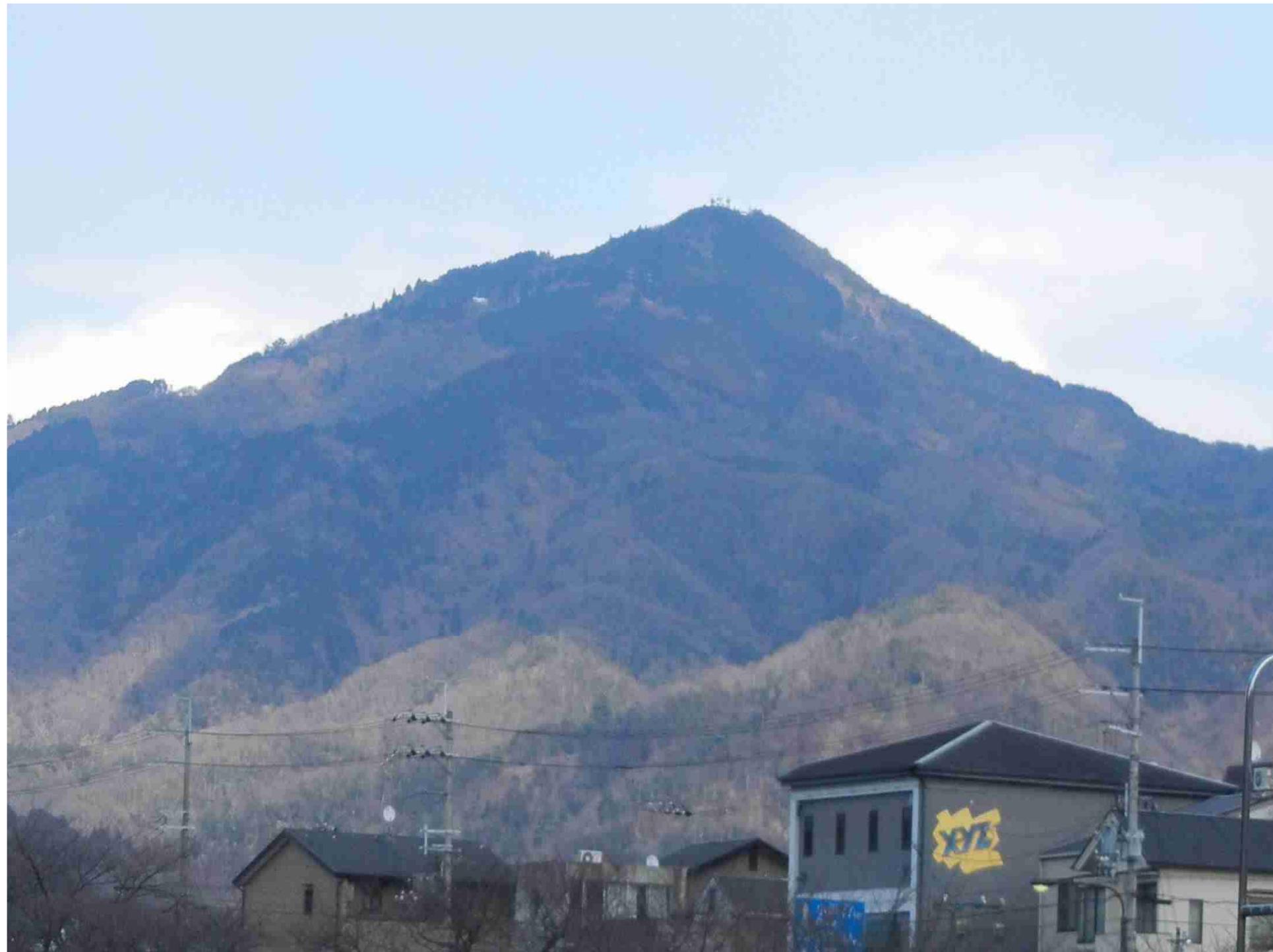


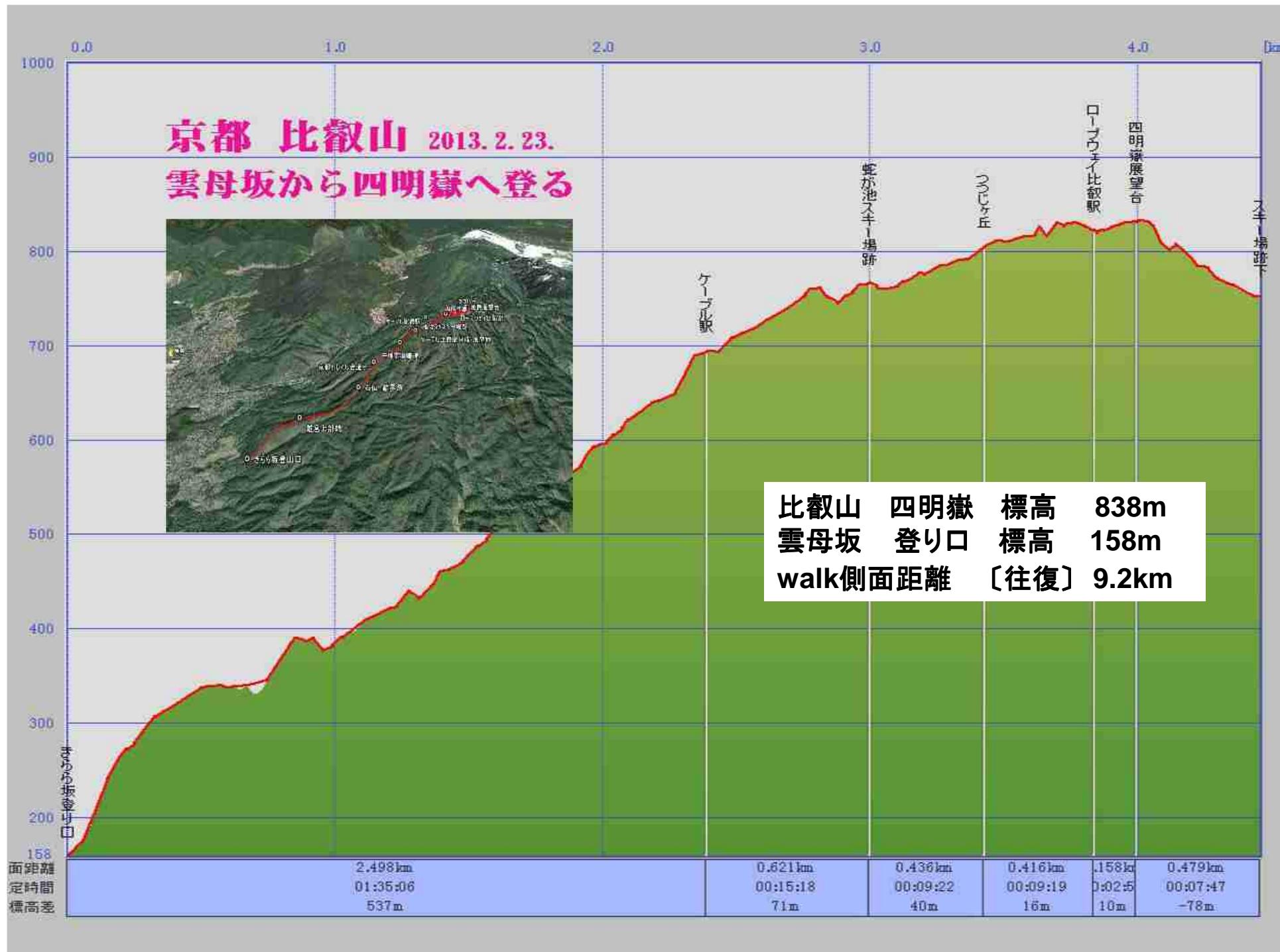
Image © 2013 GeoEye
© 2013 Cnes/Spot Image
Data: SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

GOOG











屋久島縄文杉ハイクに向けて

京都・比叡山 トレーニング ハイク

雲母坂から比叡山・四明嶽往復 2013.2.23.

往復約10km 高度差約680m

《 おしまい 》